

光とは、電子のない原子核

2020.8.1

何故、火が（恒星などである。原子核もである。）重力を持つか？私の考えでは、電気を引きつける。雷も、地球の中心に向かって落ちる。何故か分からないがこんなところである。火が燃えるということは、電気を使い、電子が再配置されるのかもしれない。つまり、重い原子から、水素のような軽い原子へと、展開させる。ひょっとしたら、電子が燃えるのかもしれない。電子が燃えると、残るのは原子核だが、恒星なんかは原子核みたいなものである（惑星が電子かもしれない。）。その原子核は、（電子がなくて軽いわけだから [火と火の反発で。【詳しくは、ひかりがあるところにはジュウリョクがある。001、https://note.com/ryusaku/n/n698e762e211d?magazine_key=mc95d6fa03f7a、ひかりがあるところにはジュウリョクがある。075、https://note.com/ryusaku/n/n3238b054b5bd?magazine_key=mc95d6fa03f7a]]）、多分外へ向かって飛んで行くだろう。地球上でも、外へ向かって飛んで行くから、あまりそれは捉えられない。ひょっとしたら、その電子のない原子核を、光と言うのかもしれない。その光になった電子のない原子核は、また、電子を呼び寄せ、普通の原子になるであろう（原子核が燃えている [『光る』] ということである。）。

例えば、地球の近くに、電子のない原子核（光）が届く。それは、地球上の電気と反応して、電子 1 個であれば、水素原子になるという具合である。ここで、電子のない原子核（光）を $H0$ （エイチ ゼロ [仮に。目的に応じて別の目的元素の記号にすればよい。])、電子（電気）を ele に、式にすると、 $H0 + 1ele \rightarrow H$ というようになる。でまた、水素が分解されると（おそらく燃やされるとであろう。）、 $H \rightarrow H0 + 1ele$ となる。より詳しくは、今秋発売予定の『ヒカリとは、デンシのないゲンシカク』（随筆）をご参照下さればと思う。



エイゾウ

R005

eizo@eizo09.com

<http://eizo09.com>